

科目名	担当者名	配当	期	単位
社会保障法	原田 啓一郎	3選	前期	2

■講義内容■

社会保障法は、制度理念としての憲法にはじまり、社会保障制度に対する法的根拠の付与という機能面では行政法と、保険診療契約や介護サービス契約といった契約の側面では民法と密接な関わりを持っている。本講義では、こうした社会保障法の総合性を意識しつつ、社会保障制度をめぐる関係当事者の権利義務関係を理解する。

■シラバス■

<科目のねらい>

社会保障に関する法的問題処理を行う能力を涵養することを目標とする。本講義は、社会保障制度の法構造について受講生の十分な事前予習を前提とした上で、具体的問題例・判例を検討しながら議論を進める。

<科目の内容>

第1回 社会保障法とは何か

社会保障の権利と義務に関する通則的事項を理解する。

第2回 社会保障の財政

社会保険料と租税に関する法的性質を理解する。

第3回 医療保障法①

医療提供体制の法関係を理解する。

第4回 医療保障法②

保険診療契約の法関係及び医療保険の給付構造を中心に理解する。

第5回 介護保障法①

介護サービス提供体制の法関係を理解する。

第6回 介護保障法②

介護サービス契約の法関係及び介護保険の給付構造を中心に理解する。

第7回 介護保障法③

介護サービス契約の法関係及び障害者自立支援制度の給付構造を中心に理解する。

第8回 医療・介護サービス保障に関する法的紛争

医療事故・介護事故をめぐる法的紛争について理解をする。

第9回 年金法①

公的年金の考え方と公的年金の保険関係を理解する。

第10回 年金法②

公的年金の給付構造を中心に理解する。

第11回 労災保険法

労災保険の仕組みと労災認定に関する法的問題を検討する。

第12回 社会保険給付と第三者行為災害との調整

受給権者が第三者行為災害の被害を受けた場合における社会保険給付と損害賠償との調整に関する法的問題について理解する。

第13回 児童福祉サービス法

保育サービス利用の法関係とその法的問題について理解する。

第14回 公的扶助法

生活保護法の原理と生活保護の運用にかかる法的問題について理解する。

第15回 定期試験

<教科書>

開講時に指示する。

<参考書>

西村健一郎・岩村正彦〔編〕『社会保障判例百選〔第4版〕』（有斐閣、2008年）

労働調査会出版局（編）『社会保障法令便覧 2012』（労働調査会、2012年）